



東村高江で暮らす皆さん (撮影=森住卓)

"もう、基地はいらない" 米軍普天間基地は撤去を"

県民ぐるみのたたかいが広がる沖縄で 平和の願いをもちより学び交流しよう

豊かな森守る高江住民のたたかいも

沖縄は戦後65年間米軍基地に苦しめられ、今も本島の約2割が基地に占められています。しかし昨年1月、名護市で「基地はどこにもつくらせない」立場の稲嶺進市長が、11月の宜野湾市でも米軍普天間基地撤去を求める安里猛市長が当選。「米軍普天間基地撤去、基地の県内移設反対」は県民の総意となって、日米政府に立ちはだかっています。

また、北部の東村高江の住民は、豊かな「やんばるの森」を破壊する米軍ヘリパッド建設に反対し、4年以上の座り込みをくりひろげています。与那国島や下地島に新たな自衛隊基地をつくる計画にも、反対運動が広がっています。

日本軍が住民に「集団自決」を強要した沖縄戦の真実を明らかにすることも、県民の願いです。

原子力空母撤去など、全国の運動も

全国でも、「軍事費削って被災地救援・復興に」の要求や、原発事故でその危険が鮮明になった横須賀の原子力空母母港の撤回、空母艦載機の移駐に反対する山口県・岩国、鹿児島県・馬毛島の住民のたたかいなど、基地強化に反対し、憲法を守る運動が広がっています。

安保60年——軍事同盟なくし憲法輝く日本を

今年の日米安保条約が結ばれて60年目です。米軍基地や憲法9条を破壊する動き、そして、TPP（環太平洋経済連携協定）や原発推進などアメリカいなしの経済政策の根っこにも、安保条約があります。

沖縄と全国、そしてアジア太平洋の仲間たちと学び交流し、米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く平和な日本をつくる展望を開いていきましょう。ぜひ、あなたもご参加ください！

2011年日本平和大会が開かれる沖縄ではいま、「もう米軍基地はいらない」沖縄を戦争の拠点から平和の拠点へ"の流れが広がっています。この沖縄での平和大会にあなたも参加し、学び、交流しましょう。

多彩なテーマのシンポ・分科会

11月26日(土) 9:30~16:00

シンポジウム (仮称)

- ① シンポ1 米軍基地のない平和で豊かな沖縄をどうつくるか？
——自治体との交流
- ② シンポ2 非核・平和のアジア太平洋をどうつくるか？
——アジア・太平洋の仲間たちとの交流

分科会 (仮称)

- ① 米軍基地再編強化反対の運動の交流
- ② 新防衛大綱による自衛隊増強に反対し、憲法9条を守る運動の交流
- ③ いまこそ国民の命を守る政治を
軍事費削って被災者へ、消費税増税・TPP反対
- ④ 原発も原子力空母も核兵器もゼロへ
- ⑤ 侵略戦争美化、集団自決の真実歪める教科書に反対し、
歴史の真実を伝えるために
- ⑥ 軍需産業の実態、武器輸出3原則じゅうりんを許さないために
- ⑦ 青年分科会：オキナワから安保と日本の未来を考える

動く分科会 (時間が異なります)

- ① 中部基地調査 ② 辺野古、高江連帯行動 ③ 南部戦跡めぐり

